

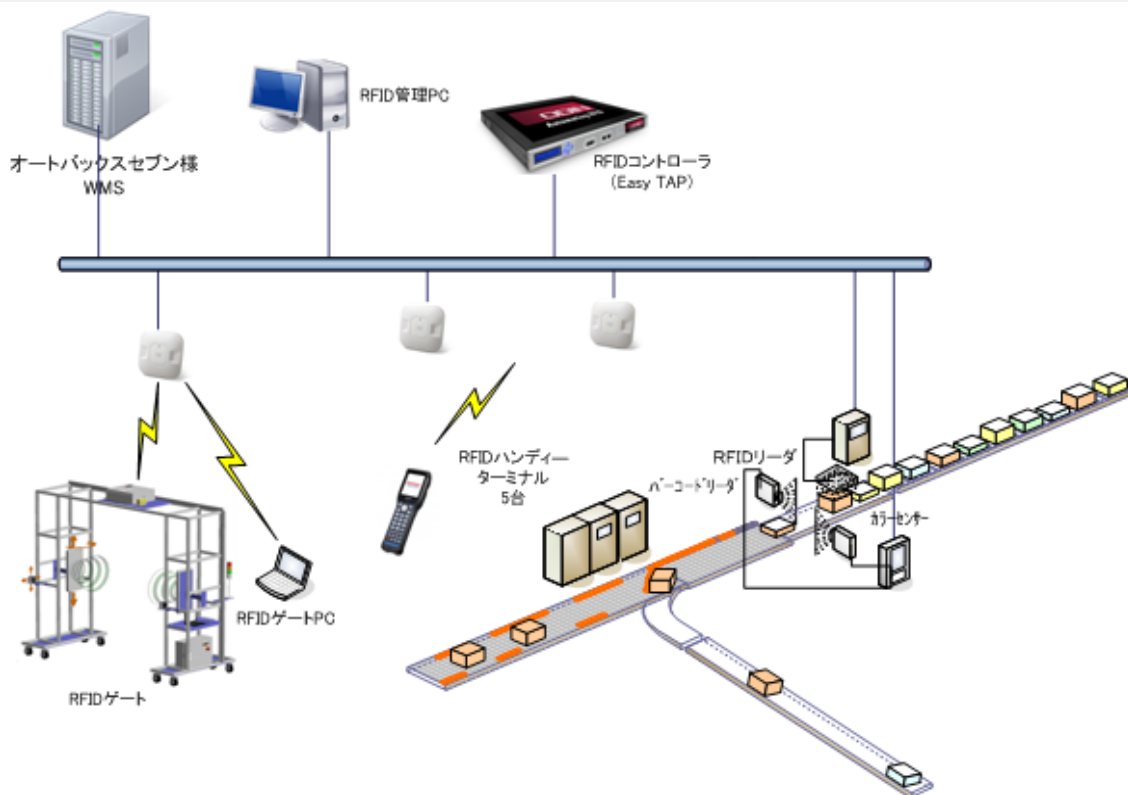
事例名：RFID物流資産管理システム

ユーザ名：株式会社オートバックスセブン様

システム概要

店舗出荷用通い箱及びカゴ台車にUHF帯RFIDタグを取り付け、物流センターからの出荷時及びセンターへの返却時に各タグの自動読取りを実施する事で、各物流資産1点1点の管理を行い、資産の効率的な利用を実現しています。

システム構成



構成機器

- ・RFID管理PCシステム(インターフェースPC)
- ・RFIDコントローラ(TKSL EasyTAP)
- ・RFIDリーダシステム
- RFID移動式大型ゲートシステム
- RFID出荷高速ソータシステム
- RFIDハンディーターミナル

情報媒体

- ・RFID (UHF帯)

システムの特長

オートバックスセブンが保有する全てのリターナブル物流資産（カゴ台車・通い箱複数種類）にUHF帯RFIDタグを貼付し物流資産管理を実現しています。

最大の特長は、100m/分のスピードで出荷ケースを仕分けるソーラインシステム上で、各通い箱の資産管理用RFIDタグ読取りと、出荷店舗情報が示されている出荷バーコードの自動読取りを行い、店舗情報と資産管理タグ情報の自動収集を実現しています。

導入の背景

物流コスト削減と環境負荷の低減に取り組む為、10年かけて折り畳みコンテナタイプ通い箱導入を行った。

しかし、店舗での滞留や未返却、紛失等の資産管理の問題があり、それを解決するためにRFIDによる資産管理を導入した。

課題

- 店舗での滞留や未返却、紛失等が発生し、利用状況や資産の偏在が把握出来ていなかった。
- 総数管理を実施していたが、管理にかかるコストが問題であった。

課題の解決

- UHF帯RFIDシステムの採用により、通常運用作業の中で通い箱の出荷実績や返却実績収集が行えるようになった。
- RFIDタグ管理により通い箱やカゴ台車1点1点の個体管理が実現できるようになった。

解決の効果

- 通常運用作業の中で出荷・返却の実績収集が可能となったことで、資産管理作業コストが削減された。
- 個体管理の実現により、管理精度が飛躍的に改善し、資産の紛失が無くなり、かつ資産利用回転率が改善された。
- 中央監視室に設置したRFIDコントローラE a s y T A Pの状態監視モニターにより、アンテナ1枚毎の異常把握が出来、迅速な異常検知と復旧が可能となった。

今後の展開

- 正確な資産管理が可能となったことで、新たなサイズの通い箱導入が可能となり、ダンボール出荷を減らす事が出来た。
- 資産管理返却実績データにより、通い箱の返却コスト計算が迅速に行えるようになった。

導入実績

東日本ロジスティクスセンターで導入後、同じシステムを西日本ロジスティクスセンターに導入。
2012年にRFID資産管理対象店舗を全店舗に拡大した。

参考URL

<http://www.tksl.co.jp/ja/case-study/retail/case-study-autobacs.html>

お問い合わせ先

トーヨーカネツソリューションズ株式会社
本社営業部
TEL : 03-5857-3132
URL : <http://www.tksl.co.jp/>